国土交通省 関東地方整備局 武州ガス 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

令和４年５月１１日（水）
国土交通省関東地方整備局　荒川上流河川事務所
武州ガス株式会社
公益財団法人　埼玉県生態系保護協会

記者発表資料

武州・入間川プロジェクト（官民連携による市民活動の助成事業）の助成団体を選定しました。

令和３年１２月１日より募集を開始した、**「武州・入間川プロジェクト」(官民連携による市民活動の助成事業)**に多数のご応募をいただき誠にありがとうございました。

「武州・入間川プロジェクト」では、第１３回入間川環境保全支援委員会を開催※し、応募団体の活動内容や助成内容を審査したうえ、別紙の団体（１１団体）を選定しました。

※委員会については、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しWEBにて開催しました。

【武州・入間川プロジェクト】

武州ガス株式会社（企業者）、荒川上流河川事務所（河川管理者）、（公財）埼玉県生態系保護協会（有識者）が主体となり、入間川流域で環境保全活動をされている市民団体等に、活動支援を行う**新しい形の官民連携事業**です。この取り組みにより、河川を軸とした地域社会の活性化はもとより、河川環境管理の質的向上を目指します。

発表記者クラブ		
埼玉県政記者クラブ	川越新聞記者会	所沢記者クラブ
神奈川建設記者会	竹芝記者クラブ	

お問い合せ先

国土交通省　関東地方整備局　荒川上流河川事務所
　副所長　髙橋（たかはし）　靖（やすし）（内線205）
　調査課長　與田（よだ）　直斗（なおと）（内線351）　TEL049-246-6360
武州ガス(株)
　企画部長　大久保（おおくぼ）　忠夫（ただお）
　企画ﾁｰﾑﾏﾈｰｼﾞｬｰ　須部（すべ）　洋史（ひろふみ）　TEL049-241-9590
(公財)埼玉県生態系保護協会
　事務局長　前田（まえだ）　博之（ひろゆき）　TEL048-645-0570

（別紙）

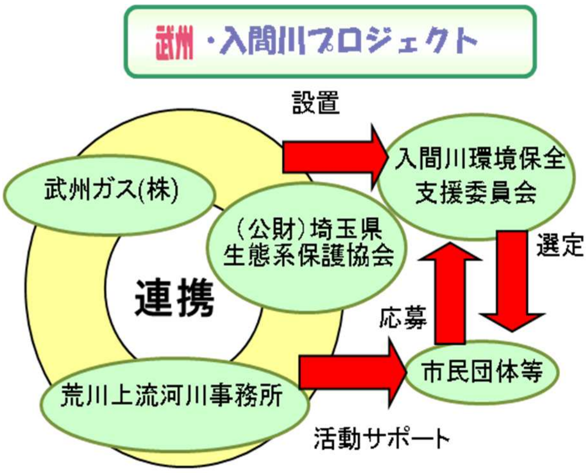
令４年度　助成団体一覧

番号	団体名	活動タイトル	団体種別	代表者	設立年	申請活動種別	活動期間	活動場所	主な助成希望内容
1	高麗川ふるさとの会	清流高麗川プロジェクト	市民団体	三浦　輝夫	2003年	環境保全活動	2022年4月～2023年3月	坂戸市（高麗川／浅羽ビオトープ）	清掃活動、環境整備 野鳥調査、植生観察会 水質調査 「こまがわニュース」発行
2	特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク	入間川一斉水質調査及びマップ作成	特定非営利活動法人	鈴木　勝行	1995年	自然環境調査	2022年4月～2023年3月	川越市・入間市・狭山市・鶴ヶ島市・坂戸市・日高市・嵐山町・鳩山町・ときがわ町他（入間川水系）	水質検査キットの確保 流域の水質調査 一斉水質調査マップの印刷、配布
3	埼玉県立総合教育センター 江南支所	「農業・環境・自然」高校生体験活動	その他	川目　晴久	1965年	環境保全活動	2022年8月～11月	川越市、川島町（入間川、荒川／三ツ又沼ビオトープ）	高校生対象の保全ボランティア実習 外来種の駆除 活動展示パネル製作
4	狭山市立入間川小学校	ぼくたち、入間川探検隊！	小学校	新井　忠洋	1874年	環境・体験学習	2022年4月～2023年2月	狭山市（入間川）	水生生物調査、水質検査等の環境学習 カヌー体験、地引網体験 学習発表会 講師の招へい
5	特定非営利活動法人 荒川の自然を守る会	三ツ又沼ビオトープの自然環境管理作業	特定非営利活動法人	木ノ内　勝平	1991年	環境保全活動	2022年4月～2023年3月	上尾市、川島町、川越市境界付近（入間川、荒川／三ツ又ビオトープ）	外来植物の駆除、在来野草の育苗と移植活動 自然観察会 広報活動のための資料作成 枯れたハチク撤去作業の機器リース 保険
6	上尾の自然を守る教職員の会	三ツ又沼ビオトープの自然環境を楽しむ会	市民団体	赤羽　栄子	1998年	環境・体験学習	2022年4月～2023年3月	上尾市、川島町、川越市境界付近（入間川、荒川／三ツ又ビオトープ）	自然観察 焼き芋 ヨシ刈り 七草粥
7	特定非営利活動法人 はとやま環境フォーラム	鳩山における自然環境調査保全活動	特定非営利活動法人	愛場　謙嗣	2007年	自然環境調査	2022年4月～2023年3月	鳩山町（唐沢川）	水質調査（農薬成分残留調査） 情報公開費用 展示パネル作成
8	SUN JOY南小畔川	アレチウリ駆除と海プラごみ阻止活動	市民団体	安原　昭司	2013年	環境保全活動	2022年4月～2023年2月	川越市笠幡（南小畔川／田中橋～神明橋）	アレチウリ駆除と雑木処理 プラごみ回収 蛍の幼虫飼育、放蛍 活動記録作成
9	埼玉県立いずみ高等学校	三ツ又沼ビオトープの環境保全活動	高等学校	小川　剛	1962年	環境保全活動	2022年4月～2023年2月	川島町（入間川、荒川／三ツ又沼ビオトープ）	管理作業研修、貸し切りバス利用 発芽・生育試験
10	城西大学	ホトケドジョウの生息地を環境DNAで探る	大学	藤野　陽三	1965年	自然環境調査	2022年5月～2023年2月	坂戸市（高麗川・葛川・越辺川・唐沢川・小畔川）	環境DNA解析 学会報告
11	川島町立つばさ南小学校	大好き川島！～守ろう 川島の緑と水～	小学校	新井　馨	2018年	環境保全活動	2022年4月～2023年3月	川島町（入間川、荒川／三ツ又沼ビオトープ）	三ツ又沼ビオトープでのフィールドワーク （自然観察、外来種駆除、植え戻したハンノキ観察等） 調べ学習・新聞作り 発表会

１．「武州・入間川プロジェクト」概要

「武州・入間川プロジェクト」は、武州ガス株式会社（企業者）、荒川上流河川事務所（河川管理者）、(公財)埼玉県生態系保護協会（有識者）が主体となり、入間川流域で環境保全活動を行っている市民団体等に、活動助成を行うものです。本プロジェクトは、これら三者の連携により、河川を軸にした地域社会の活性化と、河川環境管理の質的向上を目指します。

活動助成にあたっては、助成する市民団体等を募集し、別途学識者を含めた「入間川環境保全支援委員会」により助成団体を選定します。選定された団体に、助成金を交付（最大２０万円）するだけでなく、必要により当該河川に関する情報提供、専門家、講師の派遣など活動をサポートいたします。



各主体からの支援内容は以下の通りです。

【武州ガス株式会社】
活動資金の提供（活動助成）等

【荒川上流河川事務所】
活動フィールドの提供、河川に関する講師の派遣・情報の提供、調査の共同実施

【公益財団法人埼玉県生態系保護協会】
市民団体等への指導・助言、専門家の派遣等

２．助成対象期間

令和４年４月１日～令和５年３月１日の間に実施する活動

３．選定結果

選定された団体名は別紙の通りです。

４．令和３年度までの助成状況

武州・入間川プロジェクトでは平成２２年度のプロジェクト開始以来１２年間で累計１４７団体の活動を助成し、助成総額は２０，７２５，６２１円となりました。

令和４年度武州・入間川プロジェクトの助成を受けた活動の様子
（小学校で魚類調査学習・特定外来種の駆除作業）

※今までの助成活動は、https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index049.html をご確認願います。